

## 資料－1 第4回検討会の意見と対応

---



### 前回検討会での意見とその対応

No.	テーマ	発言者 (敬称略)	第4回検討会の主な意見	意見に対する対応
1	景観	平野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図面については、工事の発注用の図面ではなく、地域住民などが全体像をイメージできるようなものにしたほうがよい。</li> </ul>	イメージパース等で視覚的に理解出来るものを作成する。 (資料配付)
2		平野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水門については、インパクトが強いため、景観に配慮する必要がある。</li> </ul>	資料-2で説明。
3		平野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気仙沼市で計画している海水浴場施設について、トイレや更衣室等の建物のデザインも併せて検討してほしい。</li> </ul>	市の設計に反映していただくよう工夫する。
4		平吹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事の施工業者が環境配慮に関し理解できるよう、最終的なイメージの図面などを工夫してほしい。</li> </ul>	多自然川づくりの施工事例集等を参考に施工図を工夫したい。 参考資料-2, 3を参照
5	環境	平吹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境調査については、既存資料も含めて取りまとめをするべき。</li> </ul>	既往調査の重ね図を提示済み。 全ての調査結果の重ね図は資料-3に添付。
6		平吹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「順応的な管理」「生物多様性に配慮する」について、実際にどのように行うのかを考える必要がある。</li> </ul>	出来るだけ人工的な施工を行わず、自然の地形変化に任せるよう工夫する。
7		平吹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 津谷川の環境（砂浜、湿地、地盤と水の関係など）をどのように守っていくのかというところをきちっと理解していただく必要がある。</li> </ul>	現計画は低水路をそのまま残すこととしており、可能な限り現況河道を残すよう施工に配慮する。

前回検討会での意見とその対応

No.	テーマ	発言者 (敬称略)	第4回検討会の主な意見	意見に対する対応
8	施工時の配慮	平吹	・緑の防潮堤については、仙台湾南部海岸のような対応ではなく、樹種の選定等について慎重な検討が必要。	背後の保安林や海水浴施設と調整を行い樹種を選定したい。
9		高取	・環境配慮については、工事の担当者、あるいは施工業者が少し気を利かせるだけですごくよくなる事例が多いので、意識してほしい。	多自然川づくりの施工事例集等を参考に施工図を工夫したい。 参考資料-2, 3を参照。
10		平吹	・工事の施工の工程の中に、環境配慮の部分の工程を盛り込んでほしい。	環境調査の結果、移植が必要となった場合は工事工程に移植時期を記載する。 資料-4に記載。
11		平吹	・湿地が持っている防災、減災機能を活かさないか。	波浪等には有効であるが、津波に対する減災効果は少ない。 (第1回検討会の津波シミュレーションで確認済み)
12		高取	・濁水防止について、SSとともにペーハーも指標に入れてたほうがよい。	汚濁防止のため分離槽等を使用して排水する。 水質についてはSS, PHの測定を定期的に行う。 参考資料-4を参照。
13		その他	高取	・環境アドバイザー制度がどのように進んでいくかが全然見えない。
14	平野		・環境配慮に関し、取り組みを行った分だけ業者が評価される仕組みを作れないか。	工事成績調書へ反映するなど対応を検討したい